

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHApage>

facebook



vol 446

Jan 2025



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
JAHA年次大会2024報告	3~5
VETERINARY STAFF STATION	6~8
CAPP&INSTRUCTOR STATION	9~10
JAHA STATION	11
News&Information	12

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階
TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253
website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



副会長 市川 陽一朗

「高齢者動物飼育支援の展望」

新年明けましておめでとうございます。今年が皆さまと動物たちにとって良い年となりますよう祈念いたします。

動物病院に従事している獣医師の方は懸念されている方が多いと思いますが、犬の飼育頭数がかなりのペースで減少しています。また仔犬の出生数もかなり減少しています。ひとつには動物愛護法の改正によりブリーダーへの規制が強化されたこともありますが、メインは人口の減少と高齢化によるところが大きいと思います。

日々の臨床で高齢者の飼い主さんから、この子の次は飼うことができないということをよく聞いています。真面目な方が多く、終生飼育が困難だからという理由がほとんどです。しかしながら、高齢者ほど動物の飼育による恩恵が多いことは証明されていますし、多くの方が実感されているところです。

高齢者による動物飼育を支援する取り組みは、日本各地で進められています。こうした支援は、高齢者の生活の質を向上させると同時に、動物福祉の向上にもつながると期待されています。残念ながら行政の支援はまだ少ないようです。以下は、いくつかの具体的な試みです。

1. 動物と共に入居可能な高齢者施設

動物と一緒に入居できる高齢者向け施設が増加しています。従来、高齢者施設では動物の飼育が難しいとされてきましたが、動物が心の癒しとなることが認知されるようになり、飼育可能な施設が増えていきます。これにより、長年共に過ごしてきたペットと別れずに暮らし続けることができ、精神的な安定につながります。

2. ペットの世話サポートサービスや訪問看護

高齢者がペットの世話を続けるために、民間のペットシッターやNPO団体などのボランティアが訪問サポートを行うサービスもあります。例えば、散歩が難しい場合に代わりに散歩へ行ったり、病院への移動を手助けしたりする支援です。また、フードの購入や掃除など、日常のケアもサポートします。ぜひ行政の支援が必要な分野と感じています。

また愛玩動物看護師の新しい活躍の場として訪問看護は期待される分野です。Webなどを利用した獣医療の遠隔診療との親和性も高いと考えています。

3. 動物の飼育教育とサポート

高齢者が安全かつ適切にペットを飼育できるよう、飼育に関する教育プログラムを提供する自治体や団体もあります。ペットの健康管理、緊急時の対応、食事管理などを学ぶことができ、安心してペットと共に暮らせるように支援します。もちろんJAHAもこいぬこねこの教育アドバイザー養成講座やシニアケア講座を開催し、動物病院においてパピー、キトンクラスを開催やシニアケアに関するサービスを提供しています。

4. ペットの長期預かり・里親探しプログラム

高齢者が万が一飼育困難になった場合や、飼い主が病気や入院をした際に、ペットの長期預かり、新しい里親探しをサポートするプログラムもあります。これにより、動物が安心して新しい生活を送れるようにし、高齢者が「もしもの時」に対する不安を軽減します。保護から里親探しまでを活動している団体もあります。また民間やNPO法人などが運営する老犬、老猫ホームなどがあります。

5. ペット信託やペット生命保険信託

上記の活動をする際にかかる費用に、ペット信託を利用することがあります。弁護士、行政書士、一部の信託銀行などが扱っています。また生命保険を利用したペット生命保険信託もいくつかの生命保険会社が扱っています。いずれにせよ上記の活動をしている団体の見極めが重要になります。

高齢者と動物との暮らしに向けた今後の展望

少子高齢化が進む中で、高齢者が動物と安心して暮らせる環境整備が進むことを期待しています。また、高齢者自身も動物飼育を通じて生きがいを見出し、精神的・身体的な健康を維持できるため、こうした支援の拡充が望まれています。さらに、地域社会全体での支え合いを基盤とし、住民やボランティアが高齢者の動物飼育をサポートする仕組み作りが進んでいくことを期待しています。

このような取り組みによって、人と動物が共に幸せに暮らせる社会(One Well-being)が実現されることを願っています。

— 今月の表紙 —

「ずっと一緒だよ」

写真提供：R.K様



ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています

「人と動物の絆」をテーマに、ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています。お寄せいただける方はお写真と一緒に、お写真の提供者名(掲載するお名前)、お写真のタイトルをinfo@jaha.or.jpまでお送りください。どうぞよろしくお願いいたします。

※肖像権、著作権、動物の福祉に配慮した写真をお願いします。



JAHA年次大会 2024

報告

テーマ One Well-being～人と動物と自然にやさしい未来を目指して～

日程 2024年11月2日(土)、11月3日(日)

会場 AP東京八重洲

後援 農林水産省/環境省/東京都/公益社団法人日本獣医師会/公益社団法人東京都獣医師会/公益社団法人神奈川県獣医師会/公益社団法人埼玉県獣医師会/公益社団法人千葉県獣医師会/公益社団法人横浜市獣医師会/公益社団法人川崎市獣医師会/公益財団法人日本動物愛護協会/公益社団法人 Knots/公益社団法人日本愛玩動物協会/公益社団法人日本動物福祉協会/一般財団法人J-HANBS/一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブル/一般社団法人日本小動物獣医師会/一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム/一般社団法人日本獣医麻酔外科学会/一般社団法人日本動物看護職協会/一般社団法人日本動物看護学会

協賛 株式会社anifull/イオンペット株式会社/いなばペットフード株式会社/株式会社EDUWARD Press/株式会社QIX/株式会社キャミック/共立製薬株式会社/株式会社grits/白竹医科器械株式会社/新日本カレンダー株式会社/ペピー事業部/ゾエティス・ジャパン株式会社/テルコム株式会社/日本全薬工業株式会社/日本ヒルズ・コルゲート株式会社/株式会社HACHI/株式会社HUMO/株式会社V and P/富士フイルムVETシステムズ株式会社/物産アニマルヘルス株式会社/プラネットグループジャパン合同会社/ペットコミュニケーションズ株式会社/ベトキノールジャパン株式会社/ベ-リンガ-インゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社株式会社/株式会社マリナノファイバー/株式会社メディアアート/森久保CAメディカル株式会社/株式会社Life & Tail/ロート製薬株式会社/湧永製薬株式会社/株式会社Work Vision/株式会社ワールドエクイップス

参加者 獣医師(院長、勤務医)146名、愛玩動物看護師、動物病院スタッフ255名、市民75名、学生(獣医学生・看護学生)28名、ご招待10名、講師、演者45名、ご協賛企業様110名、実行委員、関係者22名、プレス5名、合計696名

【開会挨拶】

宗像会長の開会挨拶により
JAHA年次大会2024が始まりました。



宗像 俊太郎 会長

【プログラム】

●大会記念講演

11月2日15:15～16:30

「社員と組織の可能性を拓くーボーラが挑戦する幸せ経営ー」

講演者:及川美紀氏

(株式会社ボーラ代表取締役社長)



及川 美紀氏

●大会基調講演

11月3日12:00-13:00

「ご家族・地域・イヌのWell-Beingを支える獣医師、愛玩動物看護師の役割」

講師:菊水健史先生(麻布大学)



菊水 健史 先生

●会長スピーチ

13:00-13:30

「これからのJAHAが考えるOne Well-being:人と動物が一緒にどこにでも行ける社会へ」

JAHA会長:宗像俊太郎(あさか台どうぶつ医療センター)

●獣医師プログラム

11月2日10:30-13:00/14:00-16:30

「JAHA流ラウンド 没入体験型症例検討会:この症状を呈する症例の診断、治療はどうやって進めていけば良いのか?」

【内科疾患】ファシリテーター:奥田優先生(東京大学)講師・症例提供:福島健次郎先生(どうぶつの総合病院)

【整形外科疾患】ファシリテーター:枝村一弥先生(日本大学)講師・症例提供:森淳和先生(One for Animals)

11月3日10:00-11:30/14:00-15:30

「認定医を目指すための症例発表会」

アドバイザー:石田卓夫先生(赤坂動物病院)、秋吉秀保先生(ネオベッツVRセンター)

「症例発表スキルアップセミナー」

講師:石田卓夫先生(赤坂動物病院)



JAHA年次大会 2024 報告

●愛玩動物看護師プログラム

11月2日10:30-11:50

「医療現場の看護師さん・臨床検査技師さんから学ぶ」

【ヒトの看護師、いつ・どこで・だれと・どんな仕事を・どんな風に行っているの?】

講師:金井望氏(大学病院勤務看護師)

【ヒト医療現場における臨床検査技師の役割】

講師:小野澤裕也先生(麻布大学)

11月3日14:00-16:00

「緊急疾患・救急対応」

【えっ!急患!?その時あなたはどうか動く?愛玩動物看護師が押さえておくべき救急対応のきほん】

講師:塗木貴臣先生(TRVA動物医療センター)



●動物病院スタッフ向けプログラム

11月2日12:45-13:45/13:55-14:40

「動物に優しい動物病院であるために～診療の中に行動学を取り入れる」

講師:野口ゆづる先生(JAHA認定家庭犬しつけインストラクター)

「保護犬のリハビリトレーニング～お散歩の苦手を克服する～」

講師:山下恵先生



●ホスピタルプログラム

11月2日11:00-12:00/13:30-14:30「JAHA流TED」

「小笠原聖悟はどこから来て、いま何をし、どこに向かうのか」

プレゼンター 小笠原聖悟先生(小笠原犬猫病院)、

「私はナニモノ?動物看護師としてのこれまでの生き方と、明日からの生き方」

プレゼンター 旭あすか氏(りんごの樹動物病院)

「未来のためのペット事業者哲学」

プレゼンター 野間厚志氏(SIPPO-HAPPO株式会社)

「一寸先のワクワクを求めて～自分のキャリアをどう作っていくのか?」

プレゼンター 井上舞先生(ロイヤルカナンジャパン合同会社)

11月2日12:00-12:20

「しつけサービスを導入して選ばれる動物病院へ!～認定家庭犬しつけインストラクター活動事例～」

講師 羽金道代先生(JAHA認定家庭犬しつけインストラクター)

11月3日10:00-11:30/14:00-16:00

「最強チームの秘訣-悩める院長・幹部スタッフのためのセミナー」

講師 豊田陽一先生(株式会社Isec.)

「Well-beingを目指した人材育成-キャリアの視点から-」

講師 岡野顕子先生(獣医師・キャリアコンサルタント)



●CAPP/市民プログラム

11月3日10:00-11:15「CAPP活動報告」

「精神医療センターでの活動」

講師 長谷部美知子氏(埼玉県立精神医療センター)

「高齢者施設での活動報告」

講師 大林杏子先生(KOKOどうぶつ病院)

「リハビリテーションカレッジ島根での授業報告」

講師 新山則子先生(ごんた動物病院)

「付添犬ハンドラーからの活動報告」

講師 畔柳郁子氏(CAPP認定パートナーズ)



11月3日11:15-11:30

「CAPPボランティア表彰」

「CAPP活動動物メモリアルスライドショー」

「ドッグダンス～花は咲く～」

講師 柴内裕子先生(赤坂動物病院)、
千葉陽子(赤坂動物病院)



11月3日14:00-14:45

「『愛されキャラ』に育てよう!愛犬と最高の関係づくりができるドッグスポーツのススメ」

講師 森山知加子先生(JAHA認定家庭犬しつけインストラクター)

11月3日15:15-16:00

「子犬と子猫に幸せな未来をこいぬこねこ教育アドバイザーからの提案」

講師 寺町光成先生(寺町動物病院)



●企業コラボ企画 愛玩動物看護師対象「動物看護技術コンテスト」

EDUWARD Press×JAHA共催

愛玩動物看護師の皆さんの“動物看護技術”を磨くセミナーを展開!現時点における看護技術がどれくらいなのかを確認するためのコンテストを企画しました。

11月2日11:00-12:00/12:30-13:30/14:00-15:00

審査員 一戸登夢先生(麻布大学)、小沼守先生(千葉科学大学)
佐野忠士先生(帯広畜産大学)、田中理咲先生(動物病院ヒューマンズ
キル育成コンサルタント)、南てるみ氏(あさか台どうぶつ医療センター)、
三好哲平(帝京科学大学)

部門 ①採血・留置部門 ②バンテージ部門 ③ホスピタリティ部門

参加対象者 愛玩動物看護師の資格取得者



●オープンプログラム

11月3日10:30-11:30

「世界で最もプロに愛用されているコングの謎と行動修正の関係」

講師 金子真弓先生(優良家庭犬普及協会常任理事&公認ジャッジ)



●協賛展示企業様の展示ブース



●協賛企業様の展示ブースを巡るスタンプラリーの開催



全ての展示ブースのスタンプを集めた方には、豪華景品が当たる抽選会にエントリーしていただき、大会の最後に抽選会を行いました。企業様からも沢山の商品をご提供いただきました。



勝間 健次 実行委員長

【閉会挨拶】

本年度実行委員長の勝間健次先生より閉会の挨拶があり、年次大会2024が終了しました。

ご講演・発表をしていただいた皆様、当日ご参加いただきました多勢の皆様に厚く御礼申し上げます。



こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座を受講された皆様に「こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座を受講して～私の夢～」をテーマに、熱い想いをつづっていただきました。



こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座を受講して ～私の夢～

エール動物病院 伊藤 綾衣

私には夢があります。それは動物と人が共に心地良く生きることができる社会をつくること・・・と、以前はなんとなく思っていたのですが、今回の実践コースに参加してより強い意思へと変わりました。

私は幼い頃より動物が好きでした。しかし転勤族であったということもあり、なかなか家で動物を飼うことはできませんでした。当時の楽しみといえば、犬を飼ったときの妄想をしてみたり、野良ネコのあとを追いかけてみたり・・・とにかく動物が好きでした。中学生になった頃、犬猫の保護施設でのボランティアの話があり、通っていたことがあります。そこでは虐待や、飼育放棄された動物や野犬など様々な事情で引き取られた動物たちがたくさん暮らしていて、中学生だった私は衝撃を受けました。同時に「動物たちがもっと楽しく暮らせたらいいいのに」と思うようになり、将来動物に関わる仕事がしたいと思うようになりました。

行動学やしつけを本気で勉強しようと思ったきっかけは就職してから1年が過ぎた頃です。日々の業務にも少し慣れてきた時、病院でとても怖がっている柴犬が来院されました。今思えばたくさん「怖い！」というシグナルは出していたのに飼い主さんから預かる際につい手を出してしまい、思いきり咬まれたことがありました。この時手が痛いのはもちろんでしたが、動物の気持ちに寄り添えていなかった自分にも腹が立ったことを今でも覚えています。しかし失敗は新たな気づきを与えてくれます。そこからセミナーや書籍などで行動学の勉強を始め、奥深さに惹かれていきました。途中結婚や出産などがあり、動物から離れた時期はありましたが、今こうして再び学べることにとても喜びを感じています。今回講義で犬は習性や考えそのものが人と違い、そこを人が間違っただけで解釈してしまうと問題が起こってくることを学びました。子犬・子猫の時期に可愛がるだけでなく、丁寧に教育をすることの大切さを今後できるだけ多くの飼い主さんにお伝えできれば、人と動物の関係は良好になってくるのではないかと思います。

以前元プロ野球選手のイチローさんがこのような言葉を言っていました。「夢は近づくと目標に変わる」少し前までぼやっと曖昧だった夢が、ここアドに参加して「自分にもできるかもしれない」という自信にもつながってきたように思います。今できることを日々実践し、学ぶことで蓄積された経験は道を開き、いつかとんでもない素晴らしい未来を実現することができるかもしれない。しかしこれは一人でできることではありません。同じ志を持つ仲間と繋がりが、動物と人がもっと笑顔で過ごせる社会を目指していきたいです。





なごみ豆知識!!



<http://101dog.co.jp>

国民年金基金とiDeCoについて

厳寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今回は「所得控除における国民年金基金とiDeCo」についてご紹介いたします。

□国民年金基金とiDeCo

基本的には、どちらの制度も国民年金の上乗せという意味合いのものになります。

個人事業主の掛金限度額は、**両制度合わせて**月68,000円以内となります。

・国民年金基金

「社会保険料控除」であり、納税者が自己または自己と生計を一にする親族の社会保険料を支払った場合、その**支払った人が所得控除を受ける**ことができます。

個人事業主の方が配偶者の掛金を負担される場合は、国民年金基金の方が家計全体で見ると、**税額が安くなる**可能性があります。ただし、国民年金の方は国民年金基金に加入できますが、厚生年金の方は加入できないためご注意ください。

・iDeCo

「小規模企業共済等掛金控除」であり、**支払いできるのが納税者本人のみ**のため、必然的に**支払ったその本人のみが所得控除を受ける**ことができます。

iDeCoは、厚生年金保険の方でも加入は可能です。ただし、掛金の限度額が個人事業主の方とは異なり、月23,000円となります。(最低額は月5,000円です。)

□具体例

院長先生：税率50%、配偶者：税率30%という条件で、配偶者の国民年金基金を年額816,000円(月68,000円)支払う場合、院長先生と配偶者のどちらが負担するかで、家計全体の税額がいくら変わるか確認していきます。

○院長先生が負担する場合：

$816,000\text{円(年額)} \times 50\%(\text{院長先生の税率}) = 408,000\text{円(税額から引かれる額)}$

○配偶者が負担する場合：

$816,000\text{円(年額)} \times 30\%(\text{配偶者の税率}) = 244,800\text{円(税額から引かれる額)}$

○税額負担の差額：

$408,000\text{円(院長先生負担の場合)} - 244,800\text{円(配偶者負担の場合)} = 163,200\text{円}$

より税率の低い配偶者がご本人の国民年金基金を負担するより、税率の高い院長先生が配偶者の国民年金基金を負担する方が、家計全体で見ると、年間163,200円税額が安くなります。

※先生方の所得によって税率は変わりますので金額に違いは出ます。

今回は所得控除を焦点にしたものとなりましたが他にも国民年金基金とiDeCoのメリット・デメリットはありますので、税金のメリットだけで決めるものではありませんが、税理士等の専門家にご相談のうえ、一度ご検討されてみてはいかがでしょうか。

One Well-being ハワイ大学主催 獣医学関連セミナー&施設見学ツアー in Hawaii報告

日程 11月5日-11月9日

参加対象 JAHA会員病院の獣医師、愛玩動物看護師、サポート会員、本セミナーにご関心のある方

参加人数 11名

目的 One Well-beingを実現しているハワイの事例を体感し、人と動物の共生社会の実現のためにこれから私たちができることを共に学ぶツアー



セミナープログラム概要

[1日目] セミナー

〈特別セミナー〉

ハワイにおけるOne Well-beingと動物に関する新しい政策
ハワイ大学がんセンター疫学専門家

岡田悠偉人

〈基調講演1〉

Assistance Dogs of Hawaiiの活動と実際
Assistance Dogs of Hawaii

ケイティ・ジュリアン

〈基調講演2〉

セラピードッグの活動とホストファミリー
ミリー

クイーンズ・メディカルセンター

ジョージ・ブルーノ

[2日目] 施設見学

〈見学1〉

保護動物の養育、里親探し、動物虐待防止などの啓発活動を行う団体
©Hawaiian Humane Society

〈見学2〉

日本人獣医師が働くハワイの地域に根ざしたクリニック
©Aina Haina Veterinary Clinic

©Aina Haina Veterinary Clinic

〈見学3〉

lotデバイスから医薬品、生の食品まで扱う全米最大のペットショップ
©Petco

©Petco

[3日目] ラナイ島ツアー(オプション)

〈見学4〉

キャットサンクチュアリー
ラナイ島にある保護猫施設
2,300平米もの広大な敷地に、約850匹の猫がのびのびと暮らしている。

©Lanai Cat Sanctuary

ハワイツアーレポート ~One Well-beingと共生社会の未来を体感する~

専務理事 水野 浩茂

2024年11月5日から11月9日まで、私たちはハワイで「One Well-being」を実現するための素晴らしい取り組みを学ぶツアーに参加しました。このツアーでは、人と動物の共生を目指した活動に触れ、将来私たちがどのようにしてより良い社会を作っていくのかを学びました。さて、旅の詳細をお伝えします！

[1日目] セミナー

ツアーの初日は、ハワイにおける「One Well-being」と動物に関する新しい政策について深く学べる特別セミナーからスタートしました。ハワイ大学がんセンターの疫学専門家、岡田悠偉人氏による講義では、ハワイが推進する「Well-being(幸福感)」の概念とその実現に向けた政策が紹介されました。特に、人と動物の関係がどれほど私たちの健康や社会に良い影響を与えているかに焦点が当てられ、参加者全員が驚きと感動の気持ちを共有しました。

その後の基調講演では、ハワイの「Assistance Dogs of Hawaii」で活動するケイティ・ジュリアン氏が、補助犬とその社会貢献について語り、また、クイーンズ・メディカルセンターのジョージ・ブルーノ氏がセラピードッグの役割とホストファミリーの重要性について話しました。両講演とも、動物がどのようにして人々の生活を支え、心のケアを提供しているのかを具体的に知ることができ、心が温かくなりました。

[2日目] 施設見学

次の日は、実際の施設を訪れて、ハワイで行われている素晴らしい活動を見学しました。

〈見学1〉Hawaiian Humane Society

最初に訪れたのは、ハワイの「Hawaiian Humane Society」。この施設では、動物の保護、養育、里親探し、さらには動物虐待防止の啓発活動を行っています。私たちは施設内を見学し、保護された動物たちがどのようにケアされ、愛情をもって新しい家族と出会うのかを学びました。この活動がどれほど地域社会に貢献してい

るのを感じ、動物たちの未来を守るために私たちにできることが多いことを実感しました。

〈見学2〉Aina Haina Veterinary Clinic

次に訪れたのは、地域密着型の獣医クリニック「Aina Haina Veterinary Clinic」。ここでは、日本人獣医師がハワイの動物たちのケアを行っており、その心温まる対応に感動しました。診療の一環として、動物たちが地域の一員として元気に暮らせるようサポートしている様子を見て、人と動物が共に幸せに生きるための重要な取り組みを実感しました。

〈見学3〉Petco

そして、全米最大のペットショップ「Petco」を訪れました。ここでは、ペット用の医薬品から食品、そしてペット関連のさまざまな製品が一堂に会し、動物たちの生活をより良くするための様々なアイテムを発見しました。特に、ペットに優しい製品や、ペットと飼い主が共に健やかに暮らせるアイデアに触れ、便利さと優しさの両立を感じました。

[3日目] ラナイ島ツアー(オプション)

ツアーの3日目は、オプションのラナイ島ツアーに参加しました。ここでは、保護猫施設「キャットサンクチュアリー」を訪れました。広大な敷地に約850匹の猫たちが自由に暮らしている姿を見て、私たちは動物たちが自然に近い形で過ごせる環境の大切さを感じました。猫たちが幸せそうに過ごす光景は、共生社会が実現される未来を感じさせてくれました。

最後にこのツアーを通じて、私たちはハワイがどれだけ動物との共生に力を入れているか、そしてそれがどれほど社会に良い影響を与えているかを深く理解しました。「One Well-being」の実現に向けて、人と動物が共に幸せに暮らす社会を目指して、これからも積極的に学んでいきたいと思えます。

CAPP要訳

A Cross-Cultural Comparison of Cat-Human Relationships in the United States and Japan

アメリカ合衆国と日本における猫と人の関係の文化比較

Kristyn R. Vitale, Saho Takagi, Minori Arahori, Hitomi Chijiwa, Monique A. R. Udell and Hika Kuroshima
Anthrozoös 37, 5 (2024)

世界中で猫は人気のあるペットであり、約4分の1の世帯が少なくとも1匹の猫を飼っています。近年では、動物保護施設や猫カフェといった猫の飼育スペースが増えています。このような人と動物がふれあう場において、文化的な違いがどのように影響を与えるかを理解することが重要になっています。

特にアメリカと日本は、どちらも猫を飼う人が多い国ですが、ペットとしての猫の数や飼育方法に違いがみられます。日本の家庭では、猫の飼育数がアメリカより少ない傾向にあり、家族構成や文化的背景が猫との関わり方に影響を与えている可能性があります。また、文化の違いは、猫に対する感情や行動にも影響を及ぼすかもしれません。

この研究では、アメリカと日本における人と猫の関係の違いを調査するため、3つの研究を実施しました。

研究1では、日本とアメリカにおける猫に対する態度を比較しました。ペットに対する態度を測る「ペット態度尺度(PAS)」を用いて、一般的な感情を調査しました。この調査は、猫を飼っているかどうかに関係なく、Googleフォームで実施しました。その結果、アメリカの回答者は日本の回答者よりも高いPASスコアを示し、猫に対してより肯定的な態度を持っていることが分かりました。この傾向は、飼っていない人でも同様でした。アメリカでは幼少期に動物とふれあう機会が多いことや、ペットを飼う文化が広く根付いているため、猫に対する肯定的な態度に影響を与えた可能性があります。一方で、日本において猫を飼っている人は飼っていない人よりも、高いPASスコアを示し、猫に対してより肯定的な態度を持っていることが分かりました。この結果は、動物に関する経験が動物に対する態度に影響を与える傾向を示しています。このことは、文化の違いが国間だけでなく、国内における個人の経験や背景によって生じることを示唆しています。

研究2では、飼い主の猫への愛着と猫の社会的行動を調べました。「レキシントン ペット愛着尺度(LAPS)」と行動テスト「ペアタッチメントテスト(PAT)」を用いて、飼い主の愛着と猫の社会的行動を調査しました。日本では20人、アメリカでは17人の飼い主とその飼い猫が、自宅でテストに参加しました。さらに、研

究3では、家庭外の環境である猫カフェの猫の社会的行動を調べました。日本とアメリカの猫カフェで、それぞれ23匹の猫を対象に社交性テストを実施しました。

研究2の結果、両国の飼い主が猫に対して示す愛着レベルに大きな違いがなく、どちらも高い愛着を持っていることが分かりました。また、研究2と研究3の結果は、両国の猫の探索行動に大きな違いがあることを示しました。アメリカの飼い猫と猫カフェの猫は、日本の猫よりも人の近くで過ごす時間が長いことが明らかになりました。さらに、アメリカでは、飼い主の愛着レベルが猫の社交性行動に影響を与えており、猫との絆が強い飼い主ほど、猫の飼い主に接近する頻度は低くなりました。一方、日本ではそのような関連性がみられませんでした。安全な愛着を形成した猫は、新しい環境(見知らぬ人やカメラ機器など)において、飼い主から離れて自信を持って探索する傾向があった可能性があります。

両国を比較したこの研究では、人と猫の関係について新たな視点を提供します。猫は世界中に広く分布し、その社会的行動は柔軟で、経験や環境によって大きく変化します。そのため、飼い猫は、人と動物の交流における異文化間の違いを調査する上で優れたモデルと言えます。

この研究から、アメリカと日本の間で猫に対する態度や猫の社会的行動に違いがみられる一方、共通点も確認されました。例えば、人の幼少期の猫の関わりや猫を飼う割合の低さが、猫に対する態度に影響している可能性があります。また、飼い猫の場合、飼い主の特性、飼育環境の広さ、日常的な世話の習慣、そして猫に対する態度が、猫の社会的行動に影響を及ぼす可能性があります。

さらに、人と動物の関係に関する研究は、西洋の視点に偏りがちであるため、非西洋の視点を取り入れることが重要です。今後の研究では、人と動物の関係が文化によってどのように異なるかをさらに深く探るとともに、この知見を飼い猫の福祉の向上に活用することが期待されます。

誤って先月のニュースレターにて10月分の報告を先に掲載しておりました。
大変申し訳ございません。あらためて9月度の報告を掲載いたします。

2024年 9月CAPP訪問活動実績

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
青森県	鶴ヶ丘苑【村田道子・保木明彦(V)】	25		1	6	3			
栃木県	マイホームきよはら【矢部真人(V)】	22	3		6	5			
千葉県	ときわの社【佐々木拓也(V)】	2	2		5	5			
	おひさまハウス柏【市川美雪・形部智(V)】	28	1	1	3	4			
東京都	やはら翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	30			6	5			
	くめがわ翔裕園【永島憲子・島中道昭(V)】	19	1	1	9	1	6		
	テイサービズD.Festa立川【中島千恵・黒本さかえ(V)】	2	1	1	3	1	4		
	やまと苑【仙庭早苗・石川幸子(V)】	29			4	3		1	
	シーダウォーク【滝村昌世・小林豊和(V)】	25		1	13	2	12		
	等々力の家デイホーム【中田景子・佐藤健一(V)】	18			10	1	6		
	サンピナス立川【浜村富美子・岩崎侑(V)野坂昭文(V)】	27			6	3	5		
	浴風会 浴風園【風祭紀子・竹中晶子(VN)】	19		1	19	3	10		
神奈川県	横浜さくら苑【佐藤恭子】	8	1		6	5	1		
	旭ホーム【水谷渉(V)】	1	3	1	2	3	1	2	
	ラポール藤沢【水谷渉(V)】	19	2	2	1	1	1	3	
	ふれあいの森【水谷渉(V)】	26	2	2	2	1			
	ラポール三ツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】	28			3	3			
愛知県	ナーシングホーム形原【太田恵里・大竹克己(V)】	20			8	1	7		
大阪府	翼さくら苑【田中玲子・本田善久(V)】	15	2		10	3	9		
香川県	青の山荘【大林杏子(V)】	18	2		8	1	10		
福岡県	若杉の里【徳永可和子】	25			3	2			
	宗像アコール【吉田真理子・永田朋子(V)】	11	2		5	1	6		
	合計	22回	22	11	138	17	115	3	6

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
千葉県	千葉市立寒川小学校【山ノ上由紀子・佐々木拓也(V)】	27	1	1	13	6			
	おたかの森センターこども図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	15	2	1	5	1	3		
東京都	三鷹市立三鷹図書館【風祭紀子・滝村昌世・千葉陽子(V)】	14	1		14	2	7		
宮崎県	宮崎市立西池小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	2		3		6			
	宮崎市立宮崎南小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	6			3	3			
	合計	6回	4	5	38	3	28	0	0

医療施設等

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
千葉県	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	18	1		3	4			
東京都	信愛病院AAA【後藤三枝子・柴内裕子(V)】	10			12	1	8		
	長谷川病院【浅原久子】	26			6	2	6		
	東京衛生ア・V・V病院【竹中晶子(VN)】	6		1	2	2	1		
		13		2	1	2	1		
		20		1	2	2	1		
		27		1	2	2	1		
静岡県	天竜病院【大井由紀子・館澤仁(V)】	9			4	4			
愛知県	愛知県医療総合センター【梅村由佳理・夏目里枝子(V)】	12			5	3			
		29			5	3			
	岡崎市民病院【太田恵里・大竹克己(V)】	25			8	5			
岡山県	岡山ハビリテーション病院【天野達也(V)・大石太朗(V)】	10	1	3	4	1	3	1	
	合計	12	2	8	54	4	44	5	0

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
北海道	緑ヶ丘療育園【保久留美子・本田英隆(V)】	13		4					
宮城県	第二ひたかみ園【阿部俊範(V)】	1	3	2		4			
東京都	都立府中療育センター【穂矢智枝・石川幸子(V)】	18		9		6			
神奈川県	湘南鬼瓦【水谷渉(V)】	2	2	3		1	2	2	
	合計	4回	5	18	0	11	2	2	0

	活動回数	獣医師	動物 看護師	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
9月合計	44回	33	42	230	35	185	10	6

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHA1級動物看護師

11月の寄付と募金のご報告

企業・団体からの寄付

公益社団法人 アニマル・ドネーション	165,012
--------------------	---------

ポイント募金

Yahooネット募金 11月分	28,470
SOFT BANKつながる募金 11月分	3,311

個人・動物病院からの寄付

匿名	1,100
----	-------

出展会場にて

年次大会会場	412
--------	-----

【CAPP 募金活動のお知らせ：新しい募金箱の発送時期について】

例年、新しい募金箱は1月のニュースレターでお送りしておりましたが、今年度は3月のニュースレターに同封いたします。
CAPP 活動は、皆さまの温かいご支援のおかげで成り立っております。これからもアニマルセラピー活動を応援してください。



新入会 ～正会員 紹介～

ノア動物病院

《入会》2024年11月28日
《入会区分》動物病院会員A
《住所》大阪府豊中市上新田2-14-3
TEL:06-6835-2022
《正会員》山本 憲昭

+ どうぶつ病院 ㇿ



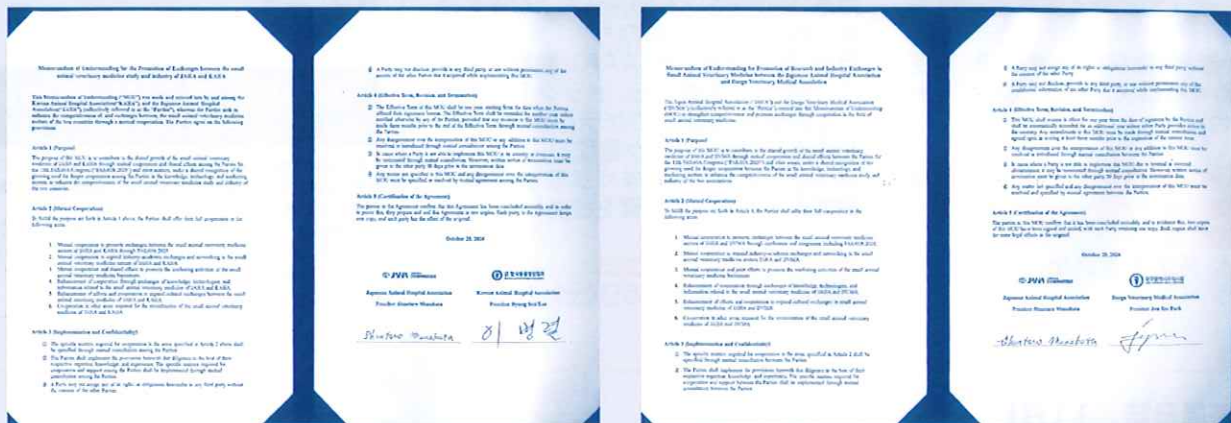
会議録 第1回WJVVF実行委員会(2025年) 会議録

日時:2024年12月6日(金) 13:30~15:40
開催方法:Zoom
出席者(敬称略):
正田、浅井、石田、岸、桑原、小林、中村、新山、吉内、宗像
欠席:小山田、近藤
事務局:横川

議題:
1)2025年プログラム内容に関する現状報告
2)テーマと内容
講師:上野先生、吉田先生、会長?
→JBVPIに開催可否の返答まち。執行部に経費負担の確認。

KAHA、大邱市獣医師会(DVMA)との小動物獣医学研究・産業交流促進に関する MOUについて

2024年10月25日にKAHA、大邱市獣医師会(DVMA)との小動物獣医学研究・産業交流促進に関する MOUを締結しましたのでご報告いたします。



JAHA 動画配信サービス

豊富なコンテンツが200時間以上!

■新着動画

～過去の国際セミナー20タイトル以上が配信中～ 動画配信専用コンテンツもあります

経営情報(税務)

第117回

「三共済について」

なごみグループ 税理士法人 和 (なごみ)
税理士 吉田 葵 先生



①小規模企業共済

税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生
税理士 吉田 葵 先生



動画配信は、正会員病院の限定サービスです。
オンラインで実施したセミナーなど、期間限定での見逃し配信など、
セミナー開催が厳しい状況が続く今、
皆様への学習機会提供の一助となれば幸いです。

動画配信サービスへのログイン・申込はこちらから(正会員病院の限定サービスです)
※アカウントをお持ちでない方は、
以下のリンクより「サービスのご案内」をご確認ください。
<https://doupa.net/jaha/login/login.php?c=OTU=>



セミナー予定

●こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座ベーシックコースオンライン

講師：村田香織先生
 日程：全7回（第1回～第6回は録画配信、第7回のみZoomによるリアルタイム配信（10日間の見逃し配信あり））
 ⑥2月1日～7日 子猫の選び方・ニーズ、子猫の困った行動（じゃれ咬み・トイレ・爪とぎなど）
 ⑦3月1日～7日 こねこ塾
 ⑧3月12日（水）13-15時リアルタイム配信（見逃し配信あり）

●動物病院スタッフのためのシニアケア講座2024・オンライン

日程と講師：
 第3回：「高齢動物の疾患に関する知識2」
 1月22日（水）14:00～16:30
 講師：宮田 拓馬 先生
 第4回：「高齢動物の栄養学・栄養管理」
 2月19日（水）14:00～17:00
 講師：徳本 一義 先生
 第5回：「高齢動物のケア、犬猫とご家族のQOLを高める工夫」
 3月19日（水）14:00～17:00
 講師：小野沢栄里先生、小松原大介先生、島田旭緒 先生

●「様々なグリーフケアを話し合おう！」（名古屋・対面セミナー）

講師：阿部美奈子先生
 日程：
 2025年1月13日（月・祝）10:00～16:00
 会場：名古屋ECO動物海洋専門学校（予定）
 主な対象者：動物病院スタッフ（獣医師、愛玩動物看護師、ケアスタッフ、トリマー 他）

●オンライン国際セミナー「困難な腫瘍とどう向き合うか？ー臨床現場で役立つ最新の知見ー」

講師：岩木 芳美先生（University of Missouri）

形式：収録配信、ライブ配信によるQ&A
 日程：
 講義配信：2025年1月20日（月）～2月16日（日）
 ライブQ&A：2月21日（金）9:00～10:00

●愛玩動物看護師対象オンラインセミナー「えっ！急患！？その時あなたはどうか動く？愛玩動物看護師が押さえておくべき救急対応のきほん」

（緊急疾患・救急対応）
 講師：塗木 貴臣 先生
 日程：2025年2月7日（金）13:00～5:00

●新人を迎える準備セミナー（オンライン）

講師：磯部 裕子先生
 日程：2025年3月5日

●第177回国際セミナー「外科手術の基本」

講師：Dr. Heidi Phillips (University of Illinois)
 日程：
 東京会場：2025年3月8日（土）～10日（月）
 大阪会場：2025年3月12日（水）～14日（金）

後援催事等

●「動物介在プログラム 基礎講習」(オンライン)

開催日：2025年2月1日（土）2日（日）10～16時の全2日間
 形態：オンライン会議（ZOOM）
 主催：一般社団法人 優良家庭犬普及協会
 人数：約20名
 対象：動物介在活動関係者およびその活動に興味をもつ一般の方
 目的：動物介在活動（AAA）・動物介在療法（AAT）の定義から、ボランティアとしての責任、活動プログラム、施設評価、動物適正評価、リスク管理等、アニマルセラピーを分かりやすく講義し、活動に興味のある方への教育を提供します。

●ちよだ猫まつり2025

開催日：2025年2月15日（土）、16日（日）

会場：千代田区役所
 参加対象者：一般市民（無料）
 主催：特定非営利活動法人ちよだニャンとなる会
 一般社団法人東京都人と動物のきずな福祉協会
 千代田区
 連絡先：ちよだ猫まつり実行委員会

●インターペット東京・大阪2025

開催日：
 【東京】2025年4月3日（木）～6日（日）4日間
 【大阪】2025年6月13日（金）～15日（日）3日間
 会場：
 【東京】東京ビックサイト
 【大阪】インテックス大阪
 参加対象者：小売業/流通業/メーカー/動物病院/サービス業/住宅関連・不動産/官公庁/一般来場者など
 主催：一般社団法人ペットフード協会/一般社団法人日本ペット用品工業会/メッセフランクフルト ジャパン株式会社

行事の趣旨：人とペットの豊かな暮らしのための製品・サービス・アイデアを国内外から一堂に紹介する国際見本一です。2025年のテーマは前回に引き続き「人とペットの豊かな暮らし」と題して、ペットが人に与える効用について広く一般に向けてアピールし、ペットとの共生による豊かな暮らしを積極的に啓蒙・啓発します。

会員数（令和6年11月30日現在） 合計8,512名

動物病院会員A	413病院	勤務獣医師会員	1,775名
動物病院会員B	246病院	勤務動物看護職員	4,848名
個人正会員	5名	学生会員	26名
名誉会員	2名	サポート会員	704名
個人獣医師会員	100名	施設賛助会員	165施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	79社
学術会員	148名		

《事務局日誌／11月》

2～3日	土～日	JAHA年次大会2024
3日	日	ディレクターミーティング
9日	土	認定家庭犬しつけインストラクターミーティング
14日	木	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義3（パート2）山崎千佳先生
16～18日	土～月	IAHAIOウェビナー
17日	日	第176回国際セミナー「難治性消化器疾患への対応 ～最新知見と次世代への展望～」東京会場
19日	火	講師：Dr. Jan Suchodolski 司会：松尾東日本地区ディレクター、家入東日本地区ディレクター
20～22日	水～金	担当：加藤、千葉
17日	日	EDUWARD Press共催「動物看護トレーニングセンター・第1校・第1回」
19日	火	CAPPボランティア講習会オンライン 講師：槌矢智枝さん、仙庭早苗さん 担当：山内
20～22日	水～金	第176回国際セミナー「難治性消化器疾患への対応 ～最新知見と次世代への展望～」大阪会場
21日	木	講師：Dr. Jan Suchodolski
22日	金	司会：小山田中部日本地区ディレクター、浅井中部日本地区ディレクター 担当：加藤
30日	土	動物病院スタッフのためのシニアケア講座（第1回）
		講師：小澤真希子先生 司会：羽金道代先生 担当：伊藤
		執行役員会
		家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義2（パート1）水越美奈先生、羽金道代先生